

平成 19 年 4 月 6 日 (金)

ニッキン

ドアドバイザーズ
事業継続にファンド
九州の地銀5行出資

中小企業対象に総額48億円

【福岡】企業再生や支援を手掛けるドীগン・アドバイザーズ(森大介社長、本社＝福岡市)は3月29日、九州で事業を営む中小企業を対象に、事業継承を支援するファンドを5月に立ち上げると発表した。西日本シティ銀行など九州の地方銀行5行と、中小企業基盤整備機構が出資し、ファンド総額は48億円。地銀が事業継承ファンドに出資するのは、全国で初という。

ファンド名は「九州事業継続プリッツ投資事業有限責任組合(仮愛称)」。九州プリッツファンド)。中小機構の「がんばれ! 中小企業ファンド」の仕組みを活用、運営にはドীগン社のスタッフや産業再生機構で宮崎交通などの再建を手掛けたメンバー3人が参加する。

ファンドは、ドীগン社の全額出資子会社「ドীগン・インベストメンツ」が5千万円出資。中小機構が24億円、残りを西日本シティ、肥後、鹿児島、十八、筑邦の各銀行が分担する。

投資は、優れた技術やノウハウを持ちながら、後継者問題などで新たな

事業展開が困難になって
いる主に九州の中小企業

が対象。経営権をファンドが一時取得し、経営陣の派遣やM&Aなどで事業継続を支援する。10年間で純資産3～5億円の中小企業10社程度の支援を見込む。

銀行にとって、金融支援で解決が難しい後継者問題は苦手な分野。ファ

ンド運営会社との連携でノウハウを蓄積したい考えだ。

森社長は「九州の中小企業オーナーは、ハゲタカファンドなどのようにファンドを悪者と思って
いる人も多いが、イメージを変えたい」と話している。